

事業評価シート

担当課長：自然環境整備課長

事業名	自然とのふれあいの場の整備										
上位施策名	自然環境保全と自然とのふれあいの推進										
1 事業の概要	<p>今日、環境問題への関心に加え、余暇時間の増大、都市化や高齢化の進行等により、すぐれた自然景観や野生生物とのふれあいを求める国民のニーズは、ますます増大していることから、国立・国定公園や里地等の身近な自然地域における自然の特質に応じた適切な自然とのふれあいを確保するための施設が必要。</p> <p>このため、国立・国定公園等の自然公園におけるすぐれた自然や里山等身近な自然の地域において、自然環境を保全しつつ、自然との豊かなふれあいの場づくりを行う事業を環境省直轄事業、都道府県等に対する補助事業により推進している。</p>										
2 進捗状況	<p>平成13年度より、自然公園の利用拠点等において現代のニーズに適した公園利用への転換を推進し、利用の活性化を図るため「自然公園利用拠点新活性化事業」を実施するとともに、中高年等の登山ブームを背景に、登山者が集中して植生の荒廃や浸食を招いている登山歩道について自然環境を保全しつつ安全、適切な施設を整備するため、「利用集中特定山岳地域登山歩道整備事業」を実施している。</p> <p>自然とのふれあいを通じて、効果的に自然に学び、自然の仕組みや大切さへの理解を深める「自然学習環境整備事業」、野生鳥獣と人間との共存を図るための「野生鳥獣との共生環境整備事業」、二酸化炭素の吸収源である植生の復元、自然エネルギーを活用した地球にやさしい施設を整備する「環境共生推進特別整備事業」を重点的に実施している。</p> <p>自然公園の年間利用者数は、年間延べ約10億人に達しており、自然とのふれあいを求め自然地域を訪れる人々は近年増加している。</p> <table border="1" data-bbox="427 1720 1417 1809"> <thead> <tr> <th>H8</th> <th>H9</th> <th>H10</th> <th>H11</th> <th>H12(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>984,560</td> <td>959,460</td> <td>946,710</td> <td>951,924</td> <td>952,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>自然公園の年間利用者数 (単位：千人) (環境省自然環境局 平成11年自然公園等利用者数調)</p> <p>自然とのふれあいの場の整備については、自然エネルギーの活用等地球環境対策や高齢者等の利用に配慮した施設など自然環境の特性と利用者のニーズに応じた多様な自然体験ができる場を整備するとともに、貴重な自然や野生生物の保護にも努めている。</p>	H8	H9	H10	H11	H12(見込)	984,560	959,460	946,710	951,924	952,000
H8	H9	H10	H11	H12(見込)							
984,560	959,460	946,710	951,924	952,000							

<p>3 評価</p>	<p>本事業の推進により、国民が安全・快適に自然とふれあうことが可能となることから、自然とのふれあいが促進され、自然への理解と関心を高める効果がある。</p> <p>事業実施に当たっては、費用対効果分析等による事業評価を試験的に実施しているところであり、今後とも効率的な事業執行のための検討が必要である。</p> <p>近年の中高年層の登山ブームや身障者による自然公園の利用に対応するため、高齢者等が安全かつ快適な利用を図ることができる施設整備を今後とも進めることが必要である。</p> <p>一部の施設について、施設整備によりかえって自然破壊を助長しているとの趣旨の批判もあるため、今後とも、環境に十分配慮したよりきめ細かな整備が必要である。</p>
<p>4 予算事項名</p>	<p>・自然公園等事業費</p>
<p>5 対応副施策等</p>	